

【H 南島原市-南有馬エリア Minamishimabara City-Minamiarima Area】



国指定史跡:原城跡から(原城一揆まつりの一夜城越しに)

南島原市-南有馬エリアでは、“[南西面の雲仙岳](#)”が眺望できます。小中学校の校歌には雲仙岳が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。山並みとしては、絹笠山～高岩山・妙見岳・普賢岳・平成新山～眉山と並び、有明海に向かって長い優美な裾野を引くのが特徴です。原城温泉の温泉施設の浴室からは、この風景が一望できます。

中世の時代、当エリアは隣の北有馬エリアと共に島原領主の有馬氏の本拠地となり、有史以前に阿蘇山の火砕流が海を越えて来て堆積した台地の地形を利用し、原城(北有馬エリアの日野江城の支城)を構えていました。その後、江戸時代初期の一国一城令のもと、島原城が築かれてからは日野江城と共に廃城とされましたが、“島原・天草一揆”の際には一揆軍により改修・増強されて一揆軍の本拠地となりました。当時の有馬村の村民ほぼ全員が一揆に参加したとされ、籠城作戦で原城は最終激戦地となり、一揆軍約37000人は約12万の幕府軍の前にほぼ全滅となりました。原城跡では、毎年4月に“原城一揆まつり”が行われ、犠牲者の追悼が行われています。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、南有馬エリアを旅してみませんか？

●南有馬エリアの観光情報はこちら ⇒ 南島原ひまわり観光協会 <http://himawari-kankou.jp/>



原城温泉付近から(南西から)



日本の棚田百選に選ばれた谷水棚田(白木野棚田)から